

はぎやま

令和七年 六月 一日発行

第一五九号

東京都立萩山実務学校

東村山市 萩山町 一・三七・一

TEL 〇四一(二四二)六〇一一

令和七年度当初にあたって

「心の居場所づくり」

都立萩山実務学校校長 奥山 隆

今年の春先は寒い日が続き、萩山の桜の開花は四月になりましたが、年度始めの行事である「萩山の自然に親しむ会」では、満開のもと、すがすがしい空気の中で行うことができました。

今は、新緑が芽吹き、日に日に緑を増し、タンポポ、つつじ、シヤクナゲ、花水木などの花が咲き、目を楽しませてくれていきます。

萩山の施設全体改築工事が平成三十年頃から始まり、サービス棟(調理棟)、自活訓練・個別指導棟ができ、令和四年度までに、男・女の児童寮、高年齢児童寮の改築が終わり、新グラウンドも完成し、今年度からは、学校・管理棟他の建物の工事が始まりました。

施設が現在地に移転したのは昭和十四年で、五十年を経た現在の管理棟や学校棟は、子供たちや施設の支援の変化をどう見てきたのか、感慨深いものがあります。

新しい児童寮の部屋は、個室に近いもの

となり、プライベート空間や個別支援が大切にされるようになりました。

私が以前小舎夫婦制の寮を担当していた時には、一部屋四人の子供が寝ていて、集団支援の中での育ちが大切にされました。昨今では、子供の特性の変化と支援の考え方が変わり、施設全体が子供個人の「安心した居場所」となるのかの視点で検討されるようになりました。

子供にとって、萩山が「安心した居場所」として機能しているか、我々にとっていつも考えていることです。

居場所とは、一般的には住む所や活動の場所などのハード面を指しますが、一方「心の居場所」として、安心できる、受け入れられる、ありのままでいられる、必要とされる感覚があるなど、心の拠り所を言うことがあります。

建物などのハード面で、安心して眠れる場所、落ち着かない時に居られる場所、ホッとした時に居られる場所、好きなことができる場所があるか、衣食住が機能しているかなど、施設が生活の中で備えて置く必要があります。

萩山には沢山の自然があります。畑での

野菜作り、収穫した作物の料理、草花の栽培、土と触れ合い汗を流したり、植物の美しさを感じたりなど、自然は大切な支援のツールの一つになっています。

自分が一人になりたい時には、部屋に入り、CDを聞いたり、DVDを視聴したり、漫画を読んだりして、時間を過ごすことも行われています。

その上に、子供が感じる「心の居場所」である安全基地が、子供にとって保証されているのかを、我々は常に考えていく必要があります。

心の拠り所として、「心の居場所」となっているという状況は、共に生活する職員との関係性の中で培われてきます。

萩山を退所した子供は、アフターケアや通所指導を通して職員や施設とつながるだけではなく、突然電話をかけてきたり、会いに来てくれます。先日も管理棟の談話室から、退所した児童と複数の職員が、賑やかに話している声が聞け、心の故郷にきたのかと、私もとても嬉しく思いました。

子供が困っている時に、大人が味方だと思ってもらえているか。話を聴いてくれ、励まし、見守ってくれる大人がいるか。自

分がここにいていいと、居場所を作ってくれているか。一律的な価値観から離れても場を作ってもらえているか。夢中になってやること、特別感や有実感を感じる役割をやって任せてもらえているか。仲間との繋がりを感しさせてもらえているか、など……。

職員である大人が子供との関係性を築くには、支援技術だけではなく時間もかかり、苦労するものです。一緒に生活する子供も同様な気持ちを持っています。

子供が職員との関係の中で、居心地の良さを感じるには、相互の境界線はある中でフラットな関係性づくりが必要です。職員が豊かな人間性を磨き、寄り添う支援の工夫を続ける必要があります。

大人に求められる支援は、「子供にとってどうなのか」という他の子供と比較しない、多面的な視点を持つことです。

我々は既存概念を解きほぐし、新たな学びに繋げられるような支援を念頭に置くことが大切です。

今後皆さんと一緒に、子供の居場所、「心の居場所」の在り方や置き所について考えて、支援を深めていきたいと思います。

「萩山の自然に親しむ会」

五寮 Mさん

僕が三年生になって、初めての行事が「萩山の自然に親しむ会」でした。

この行事では、色々なことをやりました。特に楽しかったのは、五人組ジャンケンでした。このジャンケンでは手を使うのではなく、クラスの人と一緒に体を使い、五人それぞれが手の指となつて行うジャンケンでした。このジャンケンではなんと僕のクラスは、四回中四連勝という結果を残しました。

そのほかにも大縄跳びや〇×クイズを行い、答えを間違えた時もありましたが、みんなで楽しく参加できました。

それから、今回の「萩山の自然に親しむ会」の後にみんなで、調理の先生方が作ってくださいった「萩山特製弁当」をみんなで美味しく食べることができました。

今回のこの行事に楽しく参加ができて良かったです。



「クラス紹介」

新学期が始まり新しいクラスがスタートしました。それぞれのクラスを紹介してもらいました。

「二年A組の紹介」

担任 田代 耕平

初夏の訪れを感じる暖かな日差しに照らされて、桜やけやきの木々の葉が一気に芽吹き始めました。校庭の木々が新しい季節を迎える準備を穏やかに整えるように、教室も新しい出会いを温かく迎えています。

一年生の学年目標は「正しく自分を表現できるようにしよう」です。表情や声のトーン、しぐさや行動。言葉以外にも思いを伝える術はたくさんあります。目の前のことに集中して取り組み、様々な経験を通して新しい自分に出会い、前向きに自分の思いを表現する方法を身につけていきましょう。

成長を実感しながら安心して学校生活を送っていただけるよう全力で応援していきます。

「二年A組の紹介」

担任 和泉 成俊

今年度の二年A組は、生徒四名と担任、副担任、そして亀のターちやんで明るく元気にスタートしました。

今年度初めの行事である「萩山の自然に親しむ会」では、クラス一丸となつて、レクリエーションや大縄跳びに取り組みました。楽しい雰囲気をつくり楽しむ力がある生徒たちで、担任としても今年一年への期待がますます高まりました。

そして、今年の二年A組は、とにかく挨拶と返事が素晴らしいです。萩山での生活、分校での授業に前向きに取り組もうとする気持ちをしっかりと大きな声で表現できています。その良さを生かし、そしてさらに伸ばしながら、中学二年生として、着実に一歩ずつ歩みを進めていきます。



一年後、最高の形で三年生へ進級できるように、担任も精一杯応援していきます。今年の二年A組をどうぞよろしくお願いします

二寮 Mさん

二年A組は生徒四人とカメラが一匹で新年度をスタートしました。

スタートするときに決めたクラス目標は、「徹頭徹尾、挨拶・返事をしっかりと・臨機応変、忍耐・切り替え、全力投球、授業態度、チームワーク」になりました。

このクラスには、しっかりとした生活を送ることができるような真面目さや、みんなが笑って授業を受けられる楽しさがあります。だから、この目標を続けていくなから「このクラスになれて良かった」と思えるクラスにしていきたいと思います。

今後も全員が協力して学校生活を送れるような二年A組にしていきたいです。





「二年B組の紹介」

担任 前田 朋彦

世の中にたえて桜のなかりせば
春の心はのどけからまし

進級式まで残っていた桜も、気まぐれな春の雨ですっかり散ってしまいました。桜の忙しない美しさは、環境が変わるこの時期の定まらない感情を表すようです。

今年の二年B組は、そんな葛藤を打ち消すような気持ちの良い挨拶から始まりました。美しい姿勢や所作は、新年度に向けた前向きな決意を映しています。

クラス目標は「楽時美夢（カクジビーム）」。自分の夢を叶えるために楽しい時を大切にする、光線（ビーム）のように目標に向かって真つすぐ突き進む二年B組を、これからよろしくお願ひします

四寮 Iさん

私たちのクラス、二年B組は現在五名、一年生の頃と比べると人数も少なく、教室が広く感じます。授業中は、自分から手を挙げる人も多く、賑やかで楽しいクラスです。

今年度の二年B組のクラス目標は、「楽学美夢（読み方…がくじびーむ）」です。それぞれが漢字一字を出して、オリジナルの四字熟語を作りしました。「楽」しくて、「時」を弁え、「美」しく、「夢」を叶える、そんな思いが込められています。

これから一年間、「楽時美夢」を胸に、皆で協力しながら、一人一人が成長することができるとクラスにしていきたいです。



「二年C組の紹介」

担任 小澤 駿介

二年C組は、五名でスタートしました。進級という節目に、もっと

頑張ろうという意欲を燃やす生徒や不安な気持ちを抱えている生徒、新たに萩山での学校生活に慣れようとする生徒など、様々な表情が見られます。

そんな二年C組の学校生活を安心・安全に過ごせるようにするためのクラス目標は、「た（大切にす）す（素直・正直）き（気づく）」です。

勉強を頑張ったり、自分を変えたいと頑張ったりするためには、今いる場所が安心できる場である必要があります。C組の教室が、やりたい自分を目指すことができる温かい居場所となるように、一人一人が「たすき」を意識し、自分のことに集中して生活していくことを期待しています。一年間、温かく見守ってください。

さくら寮 Sさん

二年C組は男子三名、女子二名での始まりです。

クラス目標は「たすき」です。「大切にす」「素直正直」「気づく」の頭文字をとって「たすき」です。

「人や物を大切に、自分の成長を素直に受け取る、忘れ物は正直に

伝える、生活や授業の中で気づきを増やす」などの想いがつまっています。

日々の学習への取り組みでは、自主的に学ぶ姿があり、一人一人が周りを気遣いながら生活しています。

これからの一年を通して、色々なことを学んでいきたいです。そのためには、忘れ物を減らすことや、先生の話をしっかりと聞く事などを、頑張っていきたいと思います。



「三年A組の紹介」

担任 木幡 祐

最上級生としての自覚をもち、少し緊張した様子で三年A組がスタートしました。

一年間の目標決めや「三年生になって」と題した作文では、とても前向きで、未来への期待が込められた内容を一人一人が一生懸命に考える姿が見られました。その姿から三年生として頑張ろうという気持ち伝わってきました。

四月に行われた「萩山の自然に親しむ会」では、様々なレクリエーションに元氣よく楽しみながら参加することができ、これからクラスが「成長できる」という期待がもてる行事となりました。

今年は進路決定に向けた大事な一年になります。自分のことに集中し、希望する進路が実現できるよう支援していきたいと思います。

四寮 Kさん

僕たち三年A組は、男子六名でスタートしました。明るくて面白く、メリハリのあるクラスです。勉強も運動も進路も一人一人が頑張っている組んでいます。

今年度最初の行事「萩山の自然に親しむ会」では、〇×クイズをやりました。その中で全員同じ答えの方に行き、途中で全員不正解になってしまいました。でも最終的には、先生たちも含めた十二人全員が敗者復活で復活し、最後の問題まで取り組めました。大縄跳びでは、回数はいきませんでした、みんなで楽しく跳べました。

また、ジャンケンゲームでは、二チームに分かれて片方は全勝、もう片方は全敗でした。

そのあとに、桜の舞う中「萩山特製弁当」を食べて、萩山の自然に親しむことができました。

今年は進路を決定する大事な学年です。不安なことも多く心配ではありますが、先生方と相談をしながら頑張っていきたいです。

「三年B組の紹介」

担任 榎本 圭

今年の三年B組は七名でスタートしています。

三年生に進級し、はじめは緊張した様子も見られましたが、それ以上に最上級生、あるいは受験生としての自覚が感じられました。

普段から空き時間には学習に励む生徒も見られ、今年は学習に一層取り組みうという意欲が感じられます。

進路については悩む生徒もいますが、わからないことは相談しながら、少しずつ進めていけるよう支援していきます。

私自身まだわからない事も多くありますが、昨年度の学びを生か

し、生徒とともに成長していかれたらと思います。どうぞよろしくお願いします。



五寮 Aさん

僕たち三年B組は男子六人、女子一人の合計七人でスタートしました。授業にも積極的に取り組めていて、挨拶や返事もできて落ち着いているクラスです。

四月に行われた「萩山の自然に親しむ会」では、レクリエーションに没頭して楽しんでいました。また「スポーツテスト」では、どの種目にも全力で最後まであきらめずに取り組んでいました。

今年度は「授業を通して、学力が上がるように先生の話をよく聞いて、たくさん発言する」「みんなが仲良く安心して暮らせるように、余計な行動はしないようにする」。

「行事ではお互いが支えあって楽しくできる」等の目標を持った安心・安全で楽しいクラスを目指していきます。

「三年C組の紹介」

担任 斉藤 由佳

三年C組は、男子六名、女子二名の八名でスタートしました。三年生に進級し、気持ちを新たに「頑張ろう」と目を輝かせて目の前のことに全力で取り組み、クラス全体に意欲が満ちています。

特に、学習に対しては今まで以上に前向きに取り組んでいきたいという想いを感じられます。

また、行事等においても自分のことに集中し、必要なスキルを身に付けている姿も見られます。最上級生として心も体も大人に成長していると感ずることができ、とても良い雰囲気です。三年生のスタートをきることができました。何事にも全力で取り組むことができるクラスにしていきたいと思っています。

二寮 Iさん

僕たちC組は、八人で授業を受けています。

授業では、みんなが積極的に手を挙げて、発表や解答することが多いクラスです。

C組は何事も楽しめるクラスです。その大きな理由の一つに四月前半にあった「萩山の自然に親しむ会」です。〇×クイズでうまくいかなかったも、笑顔でクラスの席へ戻ってくる人が多かったことや、大縄跳びでだれかが引つかかっても、みんなで楽しむことができていました。

学校の中でも最上級生としてお手本になれるように日々努力しようと思います。



「三年D組の紹介」

担任 佐藤 雅彦

萩山の自然も若草の緑が眩しくなる中、三年D組は元気な挨拶でスタートしました。進級初日から落ち着いた雰囲気で、黙々と目の前のことに取り組む姿を見て、最

上級生の意識を、それぞれが高く持っていると感じています。

今年度は受験が待ち構えており、不安を感じる生徒も多いと思います。先日進路ガイダンスを行い、今年度の予定を確認しました。その中で進路とは「進む路」、つまり「生き方」を選ぶことだと伝えました。

進路は一人一人違い、周りとは比べる必要はありません。今年とはことん自分と向き合い、考え、悩み、相談する、そんな一年にしていってほしいです

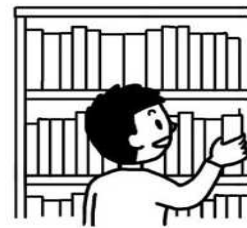
四寮 Kさん

三年D組は男子六名、女子二名でスタートしました。

三年D組は、しっかりとした挨拶を心掛け、授業中にも積極的に発言しようとする姿が見られる、とても良いクラスです。

三年生になって最初の行事だった「萩山の自然に親しむ会」では、レクリエーションの中で〇×クイズや大縄跳びがありました。〇×クイズでは、全員が間違ってしまうことがありましたが、あまり気にせず、楽しくクラスの団結を深めることができました。

私は卒業するまでの一年間、今まで通りの生活を継続しながら、自分の進路に向けてやるべきことをしっかりとできるように頑張りたいです。



「高等部の紹介」

担任 飯沼 亜輝彦

高等部は中学校を卒業した年齢の児童の日中活動の場所となっています。

具体的には、学習の時間や創作などの表現活動の時間、また心理担当職員によるソーシャルスキルトレーニングの時間があります。どの子供も、安心して活動に参加することができる、居場所であることを大切にしています。

子供達がそれぞれのペースで、学習をしたり、様々な経験を積み重ねることで、自分の将来に夢や希望をもつきっかけになってくれれば、と思っています。

けやき寮 Iさん

僕たちの高等部はアットホームな雰囲気で、それぞれが自分の目標に向かって取り組んでいます。学習では希望する進路に向けて、勉強をしています。また、他にも実際に生活をする上で、役に立ちそうなことを学べる授業が色々あります。高等部のこのアットホームな雰囲気を大切にしながら、楽しく授業に参加したいと思っています。



「生活寮紹介」

寮で暮らす子供たちは学年があがり、新たな生活が始まっています。子供たちから、どんな寮なのか紹介してもらいました。

「一寮の紹介」

Kさん

僕たちの寮の良いところは四つあります。一つ目は、子供も大人も皆優しいところです。寮内での当

番などもお互い助け合いながらできます。

二つ目は、何事も集中してできるところです。作業や学習と大変なところや難しいところを最後までやり遂げるところです。

三つ目は、元気なところですよ。朝から「作業やりましょう」など前向きな言葉がたくさん出るので、寮の中の雰囲気もとてもよく、子供と大人で良い関係をつくれていきます。

四つ目は、個性豊かなところです。それぞれの個性がありますが、それも含めてとても楽しい寮です。



「二寮の紹介」

Kさん

二寮は、和気あいあいとしていて、明るくメリハリがつく寮です。寮の中では、ボードゲームで遊んでいる姿が見られ、中庭やグラウンドでは、周りに気を配りながら楽しく遊んでいます。その他にも勉強をしている人や、料理をしている人もいます。そして漫画を読んだりする人もいます。

また寮以外では、体育館でバドミントンや卓球、バスケットボールにドッジボールなど、いろいろな種目をやることが多いです。

最後に二寮の中でもとても大事なことがあります。それは「先生の話をよく聞く（特に女性の先生）」です。これは、とても重要なルールで、この先の生活にも、活用することができると思います。

また、人との距離感をとる練習をすることによって、社会に出たときにいろいろな作業や仕事など、積極的に取り組めると思っています。



「三寮の紹介」

Yさん

今年の三寮は、だいぶにぎやかになっている気がします。明るくなったという面では、三寮の雰囲気は良くなっていると思います。それに加えて、先生方も一人一人がいろいろな経験をされている方々で毎日楽しいです。

今年の三寮のスローガンは「子供も職員もやることは同じ。仲良く、温かく、それぞれの道を歩め、自然に親しみながら過ごせる寮」と長めになっていて、一人一人の言葉を借りた長文目標になっています。今年はこれを目標にして全力で頑張っていきたいです。

「四寮の紹介」

Hさん

四寮は、子供が八人、大人が五人です。思いやりと感謝の気持ちをもつことを目標として、それぞれが楽しみながら生活をしています。休日には、畑を作ったり、みんなで野球をしたりしていて、畑では今はじゃがいもを育てています。できたものは皆でおいしくいただきます。

また余暇時間やホリデーなどの自由な時間では、皆で好きなことをしたり話し合ったりしています。それぞれの個性を出し合える場でもあり、みんなが楽しんでいます。

今後、雰囲気が悪くなってしまうこともあるかもしれませんが、その時こそみんなで思いやりを持つ

って、協力していけたらいいなと思っています。

「五寮の紹介」

Mさん

五寮は、畑で野菜を作り、お花を育てるなど、作業に力を入れています。

今年も暑い中、みんなで土を耕したり、草抜きをしたりして頑張っています。みんなが種まきをして、一人一人が水やりをしながら、責任をもって育てています。なので、みんなで協力して頑張って育てた野菜を収穫して食べることが楽しみです。また、作業をしているときは、みんな集中して頑張っている組んでいます。

今年の五寮の目標は、みんなで感謝の気持ちをもって、心豊かに一致団結できる寮です。

みんながこの目標に向かって生活をして、楽しく明るい寮にしていきたいです。

「六寮の紹介」

Tさん

六寮は現在二人いて、色々な良いところがあります。

二人だと、当番で忙しく、やることも多いです。しかし、日課のペー
スが速いので、時間に余裕が持て
ます。そこが六寮の良いところで
す。時々、バランスが崩れてしま
うときもありますが、先生方の支援
もあり何とかやっていけています。

そして、六寮の一番の良いところ
は、やる気です。たとえば、当番の
数が多くても、その場で「よし、や
ろう」と、メリハリがつけられるの
です。その時の気持ちは、誰よりも
気合が入っていて、とても元気が
出る声です。

これからその良さを活かしながら、
温かい寮にしていこうと思
います。



「さくら寮の紹介」

Tさん

私のいる寮は、挨拶と返事を心
掛けています。寮の先生に「この二
つができるよ」とても雰囲気の良い
寮になるよ」と言われたからです。

今年度のスタートは、昨年度と
は違う新しさがあります。私も含
めて一人一人の個性が強いので、
たまに衝突することもあります。

しかし、それも自分を成長させ
るための良い材料だと思い、毎日
頑張っています。

最後にさくら寮の先生方は、ユ
ーモアとメリハリを兼ね備えてい
ます。一緒に笑って、失敗しても先
生方が声をかけてくれます。総合
的に楽しい寮です。

これからも、いろいろな変化が
あるかもしれませんが、そんな時
には今の私たちがベースとなって
頑張ります。



「かしわ寮の紹介」

Sさん

私たちの寮は、みんな元気がよ
く、明るい寮です。自分のことに集
中しながら、お互いに協力し、楽し
く毎日を過ごしています。今年
度の目標は、大人と子供で話しあ

い、「思いやり」になりました。自
分のことも相手のことも大切にす
るにはどうすればいいか、寮の
みんなで考えながら頑張ります。

「けやき寮の紹介」

Tさん

けやき寮は高校生や高等部の生
徒がいる寮です。けやき寮は全員
個室で、一人ずつ日課が違うので
それぞれが目覚まし時計を持って
おり、各自で設定して生活してい
ます。

寮での生活では、今年は庭の畑
作業に力を入れており、今はトウ
モロコシを育てています。

ステップアップとして、お小遣
いを持って、普段の生活の中での
お金の使い方について考えながら
過ごすことができるようにしてい
ます。また理髪等に一人で出かけ
ることもあり、他の寮とは違い、自
立へ向けた活動が多いです。

そのような生活のなかで、今以
上にステップアップできるように
頑張ります。

「クラブ紹介」



「サッカー部」

顧問 木幡 祐

今年のチームテーマは、「サッカ
ーを楽しむ」です。でも、人それぞ
れサッカーの楽しみ方は異なりま
す。キックが思った場所に蹴るこ
とができるようになった！新しく
ドリブルの技ができるようになった！
など、一人一人が今後の活動
を通して、自分なりの楽しみ方を
見つけてほしいと思っています。

春のスタートとしては、目の前
のことに集中し、どうしたら上手
くなるかなと考えながら練習する
姿が見られています。今後も継続
していければと思っています。

これから、全員が楽しむことが
できる環境を大切にしながら、技
術や体力も磨いていきます。そし
て、心身ともに、一回りも二回りも
大きく成長できるように頑張ります。
今年度もよろしくお願ひします。

「野球部」

顧問 佐藤 雅彦

【全力！努力！挑戦！】

新たなスローガンとともに、新チームがスタートしました。

今年度の野球部は、四月現在、三年生九名、二年生五名の合計十四名で活動しています。

野球は失敗のスポーツです。練習の中で悔しい思いをします。しかしそこで立ち止まらず、共に悩み、共に考え、互いに励ましあい、再度挑戦していく。それを楽しみながら一人一人が実践できています。野球を通じて生徒たちは日々確実に成長しています。

全力で打って、走って、守ってそして楽しむ。萩山のCグラウンドには野球部の元気な声が響きわたっています。

今年度も萩山野球部を宜しくお願ひします。



「剣道部」

顧問 前田 朋彦

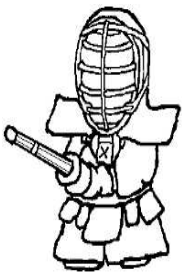
今年度の剣道部は、例年よりも人数が多く、練習にも迫力があります。スプリングスクールは徹底的な基礎練習に励み、美しい素振りができるようになりました。

萩山剣道部の目標は「楽しむ」です。剣道という競技を通して自分の成長を感じ、そのことを楽しんではいと思っています。多くの皆さんは萩山に来て初めて竹刀を握りますが、往々にして「初めて」というのは身構えてしまうもの。

しかし、その「初めて」は自分を大きく成長させてくれるはずです。

皆さんが、剣道との出会いを楽しみ、自分の成長のために充実した時間が過ごせるよう、応援しています。

今年度も萩山剣道部をよろしくお願ひ致します。



「ブラスバンド部」

顧問 河原 陽香

ブラスバンド部では、音楽を通して様々な「出会い」の経験をしています。楽譜や曲との出会いだけではなく、自分では気づいていなかった感情や可能性に出会うこともあります。最初は音を出すことにためらいがあっても「やってみようかな」という思いと出会い、音を出してみることで、期待や自信へとつながり、新たな自分との出会いが生まれているのではないかと思います。

そういった「出会い」や小さな変化を大切にしながら、今年も活動をしていきたいと思っています。



「編集後記」

いよいよ新年度が始まりました。子供たちは、様々な活動を通して、

新しい自分との出会いを経験することと思います。

これからやってくる夏の季節には、水泳や林間教育などに取り組みます。子供たちには、「新しい自分との出会い」を楽しんで欲しいと思っています。また、我々大人も子供たちとの関わりの中で、ともに成長していきたいと思っています。

今年度も、紙面にて様々な活動内容をお伝えさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

編集長

自立支援課長

文書管理

課長代理（庶務担当）

事務局

統括課長代理（福祉調整担当）

